

指定管理候補選考委員会における意見

施設名	直方市竜王峡キャンプ村		
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日		
担当課	商工観光課	評価対象事業年度	令和6年度

本施設は、市の豊かな自然を代表する福智山ろくの竜王峡の渓谷を利用して、森林浴や水遊びなどを通じて自然を体験し、市民へ憩いの場を提供することを目的に設置し、平成19年度から指定管理制度を導入している。

施設の運営面では、ヤマメの放流とヤマメの掴み取り大会の開催、竹灯籠祭りの開催やそうめん流しの実施等、施設の特徴を生かした自主事業の実施による利用客の確保のための取り組みと地域住民とも一体となった管理が行われていた。

新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少していた利用者数は、近年のアウトドア需要の増加により回復傾向にあり、日帰り利用やテントサイトの利用は増加しているが宿泊での利用がほとんどない状況であるため、利用者のニーズに合わせた事業の実施形態について改めて検討が必要であると考える。

また、アンケート調査を実施しているものの回収数が少ないため、アンケートの実施方法の再検討とアンケート結果の活用方法についても検討していただきたい。

財務面の業務遂行能力では、モニタリング報告書では単年度の収支についてのみ評価しているためC評価となっているが、これまでの運営により積み立ててきた前年度からの繰越金が十分あるため、評価委員会としては引き続き安定・継続した運営が可能であると評価する。

事業計画書の内容が、本来市で担うべき部分と指定管理者が日常の管理の中で担うべき部分が混在していることと、事業者は広報活動自体は行っているものの事業計画書に記載されている内容ではなかったため、結果としてモニタリング報告書内の評価が低くなっているなど、事業計画書と実際の事業内容に乖離があるため、事業計画書自体を見直す必要があると考える。

次年度の事業計画書については計画の実現性も含め、実態に合わせた事業計画書となるよう事業者と担当課で十分協議したうえで内容を確定させるとともに、担当課は施設の特徴に合った評価項目と目標設定の検討をお願いしたい。

今後は、施設のあり方について検討を進めるとともに施設の特徴を勘案して指定管理制度以外の方法も含めた適正な管理方法についても検討していただきたい。